

2019年度 ロボカップジュニア推進事業について

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

少子高齢化に伴う急激な人口減少が進む中、大垣市においても、他の市町村と同様に今後も人口が減り続け、現在約16万人の人口が、2060年には10.6万人まで減少することが予想されている。

今後、大垣市が活力ある持続可能なまちづくりを推進していくためには、行政だけでなく市民や企業、教育機関、団体等が連携し、新たな産業の創出や雇用の確保につながるような事業を展開していかなければならない。

本事業は、次代を担う子どもたちに気軽にロボットやプログラミングに触れてもらい、先端技術の素晴らしさやものづくりの楽しさを体感できる事業を通して、全国の企業等に「ロボット・AI・IoT産業の振興を図るまち」をPRし企業誘致につなげるとともに、産業都市としての発展を担う人材を育成する。

(2) 実施内容

① ロボカップジュニア・おおがきオープン2019

全国から出場があったロボットの競技大会を開催したことで、大垣市がロボット産業の振興を図るまちとして全国にPRでき、新たな雇用創出や活力ある持続可能なまちづくりを推進することができる。

1) と き 令和元年9月28日（土）11:00～16:00（11:00～11:30 開会式）
9月29日（日）10:30～16:30（16:00～16:30 閉会式）

2) と ころ 大垣市情報工房5階 スイंकホール

3) 競技種目 サッカー ビッグコート、ビギナーズ、ライトウェイト
レスキュー ワールドリーグ、日本リーグ
オンステージ（デモンストレーション）

4) 競技参加者数 73チーム131人

	市内	県内	県外	合計
9月28日	5チーム／9人	14チーム／20人	11チーム／25人	30チーム／54人
9月29日	5チーム／10人	22チーム／41人	16チーム／26人	43チーム／77人
合計	10チーム／19人	36チーム／61人	27チーム／51人	73チーム／131人

- 5) 来場者数 180,000人
- 6) 事前講習会
1. と き 令和元年7月21日(日)、8月24日(土) 13:00～16:00
 2. と ころ 大垣市情報工房5階 スイंकホール
 3. 内 容 ロボカップジュニアおおがきオープン2019への参加者を対象にした講習会・交流会。
 4. 参加者数 延べ26人(7月21日 9人、8月24日 17人)
- 7) ロボフェスおおがき2019(ロボット展示等)
1. と き 令和元年9月28日(土)、29日(日) 10:00～16:00
※ 9/28 9:30～10:00 オープニングセレモニー
 2. と ころ ソフトピアジャパンエリア一帯
(センタービル、センタービル南側道路、三城地区センター)
 3. 内 容 巨大ロボットの展示やロボット操作体験、プログラミング教室など、来場者が先端技術を実際に体験し、学ぶことができる体験型イベント。
- 8) 大垣市長杯ロボットアイデア甲子園2019岐阜県大会
1. と き 令和元年9月28日(土) 13:00～16:20
 2. と ころ ソフトピアジャパンセンタービル1階 セミナーホール
 3. 内 容 高校生・高専生を対象に産業用ロボットの活用アイデアを競い合う「ロボットアイデア甲子園2019」の岐阜県大会。1人8分間のプレゼンテーションによる審査を経て、最優秀賞を選定。最優秀賞受賞者は、12月に東京ビッグサイトで開催される全国大会に、岐阜県代表として出場。
また、西美濃地域の小中学生から募集した「こんなロボットあったらいいな」がテーマのロボット活用アイデアの最優秀作品を表彰。
 4. 参加者数
 - ・ 高校生の部 29人
 - ・ 小中学生の部 43人
 5. 発表者数 7人(大垣工業高校5人、岐阜工業高校2人)

9) 実施状況

<p>写真1 ロボカップジュニアおおがきオープン①</p>	<p>写真2 ロボカップジュニアおおがきオープン②</p>
	
<p>写真3 事前講習会①</p>	<p>写真4 事前講習会②</p>
	
<p>写真5 ロボフェスおおがき 2019①</p>	<p>写真6 ロボフェスおおがき 2019②</p>
	
<p>写真7 大垣市長杯ロボットアイデア甲子園①</p>	<p>写真8 大垣市長杯ロボットアイデア甲子園②</p>
	

② プログラミング名工塾

次代を担う子どもたちの育成及び科学技術への関心を喚起することで理系、工科系といった進路選択の可能性を高め、将来的に本市産業を担う人材の確保に寄与する。

- 1) と き 令和元年 6月～11月 (計8回)
- 2) と ころ 情報工房2階 多目的研修室
- 3) 対 象 大垣市内在学の小学生・中学生
西美濃2市9町内 (大垣市除く) 在学の小学校4年生～6年生
- 4) 参加者数 65人
- 5) 講座内容

回	開催日	内容
第1回	6月29日 (土)	スクラッチ基礎の学習①
第2回	7月13日 (土)	スクラッチ基礎の学習②
第3回	8月17日 (土)	スクラッチ基礎の学習③
第4回	8月31日 (土)	スクラッチ基礎の学習④
第5回	9月14日 (土)	大会応募用課題検討・プログラム作成
第6回	10月22日 (祝・火)	作成した大会応募用プログラムの調整
第7回	10月26日 (土)	作成した大会応募用プログラムの調整
第8回	11月 4日 (振・月)	作成した大会応募用プログラムの調整

6) 実施状況

写真1 プログラミング名工塾①	写真2 プログラミング名工塾②
	

③ ロボカップジュニア集中講座（ロボット講座）

次代を担う子どもたちの育成及び科学技術への関心を喚起することで理系、工科系といった進路選択の可能性を高めるとともに、ロボット市場の創出、拡大等ロボット産業やものづくり産業の振興への貢献が期待される。

- 1) と き 令和元年11月～令和 2年 2月（計10回）
- 2) と ころ 情報工房2階 多目的研修室
- 3) 対 象 西美濃地域の小学4～6年生、中学生
- 4) 参加者数 43人
- 5) 講座内容

コース	回	開催日	内容
Aコース	第1回	11月 9日（土）	ロボット製作
	第2回	11月16日（土）	プログラム作成、転送
	第3回	12月 7日（土）	大会規則の確認
	第4回	12月14日（土）	チーム紹介の作成
	第5回	1月12日（日）	大会のリハーサル
Bコース	第1回	12月 7日（土）	大会規則の確認
	第2回	12月14日（土）	チーム紹介の作成
	第3回	1月12日（日）	大会のリハーサル
共通	第1回	1月25日（土）	岐阜ブロック大会出場者向けフォローアップ
	第2回	2月 1日（土）	岐阜ブロック大会出場者向けフォローアップ

6) 実施状況

写真1 ロボカップジュニア集中講座①	写真2 ロボカップジュニア集中講座②
	

④ 大垣市長杯ロボカップジュニア大垣ノード大会

次代を担う子どもたちの育成及び科学技術への関心を喚起することで理系、工科系といった進路選択の可能性を高めるとともに、ロボット市場の創出、拡大等ロボット産業やものづくり産業の振興への貢献が期待される。

- 1) と き 令和 2年 1月19日 (日) 9:30～16:00
- 2) と ころ 情報工房5階 スイंकホール
- 3) 対 象 19歳以下で競技用ロボットの所有者
- 4) 参加者数 23チーム48人
- 5) 競技種目 サッカー ビギナーズ、オープン
- 6) 実施状況

写真1 大垣ノード大会①	写真2 大垣ノード大会②
	

⑤ 大垣市長杯全国スクラッチプログラミングコンテスト

次代を担う子どもたちの育成及び科学技術への関心を喚起することで理系、工科系といった進路選択の可能性を高め、将来的に本市産業を担う人材の確保に寄与する。

- 1) と き 令和 2年 2月 2日 (日) 13:00～16:20
- 2) と ころ 情報工房2階 多目的研修室
- 3) 対 象 全国の小中学生
- 4) 参加者数 129人
- 5) 発表者数 14人 (1人欠席)
- 6) 実施状況

写真1 コンテスト①	写真2 コンテスト②
	

⑥ スマートシティおおがきまちづくりシンポジウム

ロボットやAI、IoTなどの専門家を招き、その取り組み内容や大垣市が進める先導的なまちづくり施策等を紹介することで、市民や企業の理解促進を図るとともに、ロボット産業の創出、将来的な雇用確保が期待できる。

1) と き 令和 2年 2月15日 (土) 13:30~16:00

2) と ころ ソフトピアジャパンセンタービル1階 セミナーホール

3) 出演者

1. 講演1

テーマ 地方自治体でのIoTやAIの活用

講師 東京大学大学院情報学環長・教授

越塚 登 氏

2. 講演2

テーマ AIによる地域経済活性化の可能性

講師 電気通信大学情報理工学研究科/人工知能先端研究センター教授

坂本 真樹 氏

3. 講演3

テーマ Society5.0 これからやってくる超スマート社会

講師 国土交通省中部地方整備局河川部長

宮武 晃司 氏

4. シンポジウム

テーマ デジタルスマートシティ大垣の創造に向けて

登壇者 東京大学大学院情報学環長・教授 越塚 登

国土交通省中部地方整備局河川部長 宮武 晃司

電気通信大学情報理工学研究科/ 坂本 真樹

人工知能先端研究センター教授

大垣市長 小川 敏

4) 参加者数 200人 (定員200人)

5) 実施状況



2 予想される事業実施効果

次代を担う子ども達に、ロボットやプログラミングの基礎学習から大会出場まで継続的に先端技術に触れる機会を提供することで関心を喚起し、理系、工科系といった進路選択の可能性を高め、将来的に本市産業を担う人材の確保に寄与する。

また、全国から参加者を募集したロボットやプログラミングの大会や、シンポジウム等を開催したことで、ロボット産業などの新産業の振興に大きく波及し、将来的な雇用の創出や、活力ある持続可能なまちづくりを推進できる。

3 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 特定非営利活動法人大垣観光協会

住所： 〒503-0923

岐阜県大垣市船町2丁目26番地1

代表者： 会長 田中 良幸

担当部署： 事務局

担当者名： 役職名 三浦 武史

電話番号： 0584-77-1535

F A X： 0584-81-8828

E-mail： kanko8@ogakicci.or.jp

URL： <http://www.ogakikanko.jp/>